

# 看護科 Q&A



## Q1 卒業時の資格について教えてください。

高校卒業時点では、何の資格もあたえられません。高校卒業だけです。

- 専攻科2年間修了時点で得られるのは
- ① 看護師国家試験受験資格
  - ② 准看護師資格試験受験資格
  - ③ 助産師・保健師・看護教諭の養成所受験資格
- 5年間修了しても看護師国家試験に合格しなければ看護師にはなれません。

## Q2 看護師国家試験を教えてください。

- 看護師国家試験は例年2月中旬に全国11箇所で行われます。
- 全国の合格率は例年90%前後です。年1回の試験ですので、試験に不合格となった場合は翌年に再受験ができます。しかし、既卒者の合格率は29.3%(5年一貫においては、22.7%)と低くなっています。
- 過去5年間の看護師国家試験合格状況は以下のとおりです。

試験年	全国			本校		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者	合格者	合格率(%)
平成31年	63,603	56,767	89.3	35	35	100
平成30年	64,588	58,682	91.0	38	37	97.4
平成29年	62,534	55,367	88.5	37	37	100
平成28年	62,154	55,585	89.4	38	38	100
平成27年	60,947	54,871	90.0	34	34	100



## Q3 看護科の男子生徒は何人ですか？

平成22年から本校は共学になりました。現在男子生徒の人数は以下のとおりです。

学年	高校1年	高校2年	高校3年	専攻科1年	専攻科2年	合計
看護科人数	41名	39名	38名	40名	38名	196名
内男子人数	1名	0名	1名	2名	0名	4名

- 2016年の就業男性看護師は、8万4193名(看護師121万665人のうち)であり、この10年で倍増しています。本校においても男子生徒が4名在学しております。
- 年々、男性看護師も男子看護学生も人数は増加しています。

男子の割合 2%

## Q4 看護科の授業を教えてください。

- 高校の時は、45分7コマ授業で、授業終了は15時40分です。専攻科になると、100分授業の4コマ、授業終了は16時35分となります。
- 高校3年間の専門科目の割合は、学年が進むと増えていきます。一般科目と専門科目の割合が7対3で、一般科目の授業が少ないため、高校卒業時に進路変更すると大学受験は不利となります。
- あくまでも5年間で卒業する気持ちで看護科を選択して下さい。
- 専攻科2年間は、圧倒的に専門科目が多くなり、専攻科2年では5月から9月まで実習になります。

高校1年		
高校2年	一般科目	専門科目
高校3年		
専攻科1年		専門科目
専攻科2年		

## Q5 実習はどこで行うのでしょうか？

学年	実習日数	実習施設
高校	2年 13日間	・公立刈田総合病院(白石) ・みやぎ県南中核病院(大河原)
	3年 23日間	・仙台西多賀病院(仙台)
専攻科	1年 44日間	・県南中核病院(大河原) ・宮城病院(山元)
		・総合南東北病院(岩沼) ・老健施設さくらの杜(大河原)
	・県立がんセンター(名取) ・緑の里クリニック(岩沼)	
	・県立精神医療センター(名取) ・友愛作業所(名取)	
	・仙台南病院(仙台) ・友愛作業所(名取)	
	・広南病院(仙台) ・やまぶき作業所(白石)	
	・仙台西多賀病院(仙台) ・保育園(白石)	
	・仙台厚生病院(仙台) ・市町村役場(白石・大河原・蔵王・七ヶ谷・村田・柴田・角田)	
	・仙台赤十字病院(仙台) ・居宅介護支援事業所・角田支援学校 など	
	・県立こども病院(仙台)	
・イムス明理会仙台総合病院(仙台)		
・国見台病院(仙台)		
・坂総合病院(塩竈)		
合計	152日間 42ヶ所	

## Q6 自宅外通学の生徒はいますか？

- 看護科は県内に1校しかありません。遠い東北エリアや三陸エリアから入学してくる生徒もいます。
- 学校には寮はありません。看護科で自宅外から通学している生徒は以下のとおり。アパート2名・親戚宅1名の3名です。

学年	自宅外通学	出身中学校
高校	1年 1名	松島
	2年 1名	気仙沼新月
	3年 0名	
専攻科	1年 0名	
	2年 1名	気仙沼大谷
合計	3名	



## Q7 5年間の経費を教えてください。

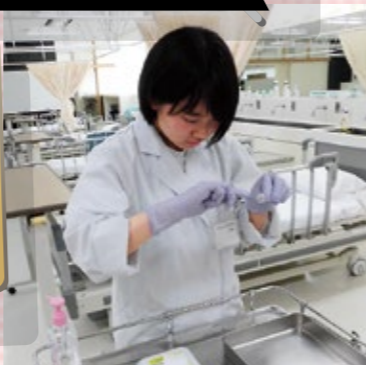
令和元年度の授業料とその他納入金は以下のとおりです。その他に実習先までの交通費は自己負担となります。

学年	入学金	授業料	その他納入金
高校	1年 5,650円	118,800円	61,000円 通常の納入金の他に看護副教材費等が加わる
	2年	118,800円	54,000円 通常の納入金の他に看護副教材費・実習費などが加わる
	3年	118,800円	76,000円 通常の納入金の他に看護副教材費・実習費などが加わる
専攻科	1年 5,650円	118,800円	132,000円 教材費・国家試験対策費・研修旅行費など
	2年	118,800円	89,000円 教材費・国家試験対策費・国家試験受験費用など

※高校1〜3年生については保護者等の県民税・市町村民税所得割額の基準を満たせば、授業料に充てる就学支援金が支給されます。

## Q8 卒業後、大学へ編入できると聞きましたが、本当でしょうか？

- 大学でさらに専門性を深めたいと希望する学生に対して、高校専攻科の修了者において大学編入資格が認められるようになりました。本校においても、認められています。



## 看護科卒業生から Message

私が看護師に憧れを抱いたのは幼稚園の時に、いち早く夢を叶えたいという思いから白石高校看護科に入学することを決めました。しかし、日々の学習や実習を通して看護師になることは、そう簡単なことではないと痛感しました。決して楽しいことばかりではなく辛いこともたくさんありましたが、それらを乗り越え、私は今新たな夢に向かうことができている。たくさんの学びが得られ、自らを大きく成長できた白石高校での学校生活と、5年を共に過ごしてきた仲間には私にとってとてもかけがえのないものです。

私は今、保健師を目指して1年過程の学校に通っています。20歳という年齢は最年少です。周りは全員年上で、中には看護師として臨床経験を持つ人もいます。初めは不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、同じ夢を持つ仲間として年齢・性別関係なく、励まし合い毎日充実した生活を送っています。新たに学ぶことも多くわからないことばかりですが、5年で鍛えあげた精神力を活かし夢に向かって頑張っていきたいと思っています。

白石高校看護科は5年一貫で、中学の時に大きな決断をしなければなりません。入学すると看護師の卵として自覚を持ち過ごしていかなければなりません。白石高校看護科は、看護師や保健師・助産師への夢を叶えるための環境が整っており、精一杯応援してくれる先生方がたくさんいます。看護師になる強い志を持って、是非白石高校で夢に向かって頑張ってください。



秋田県立衛生看護学院 保健科進学

私が医療従事者の中で看護師を選んだきっかけは、小学校高学年の時の祖父の死でした。初めて人の死という出来事に立ち会い目の前の祖父は眠っているように静かで穏やかな表情をしていたことは私の記憶から風化することなく、今でも鮮明に覚えています。「男の看護師さんもいてくれると安心するなあ」この言葉は祖父が入院中にお見舞いに行くとよく私に話していた言葉であり、そんな祖父が息をひきとる時、その日の担当は男性の看護師さんでした。この出会いが私の目標となり看護師になるため、白石高校に入学しました。

理由は違っていても同じ夢を抱いている人達が集まっているクラスは新鮮と感ずることが多く新しい発見や学びの中、切磋琢磨しながら充実した生活を過ごしました。楽しいことだけでなく専門科目の学習内容の難しさに辛いと感じることも少なくありません。ですが、学習面において知らなかった身体のことや病気のことが分かるにつれて興味や関心が増し、内容も理解できると看護師への道を歩いているのだと実感するようになりました。

そして私は看護科の5年過程と看護師国家試験を終え、この春から公立藤田総合病院の一員として働き、さらに学びを深めています。学校とは違い環境も変わる中、不慣れなことも多くやること一つ一つに対し常に意味を考え、学生時代に習った「根拠を持った看護」を頭に入れ行動し、責任を持って患者さんとそのご家族に寄り添えるよう心がけています。

白石高校看護科では、5年間という長い期間をかけて看護師国家試験合格を目指します。中学生での決断は勇気のいることと思いますが、看護師という仕事はとてもやりがいと誇りのある仕事だと私は思います。

同じ目標をもつ仲間達と協力し、自分の目指す看護師になって欲しいと思います。ぜひ自分の意志で白石高校看護科の門を叩いてください。



公立藤田総合病院勤務

看護師は、人の心も身体も救うことのできる職業だと、私は思っています。自分の存在が人に影響を与えることができる分、生半可な気持ちでは到底務まるものではありません。

15歳という若さで、将来を決断することは相当な覚悟が必要だと思えます。それでも、未来に希望を抱き、看護師という夢を叶えたいという強い思いがあるならば、ぜひ白石高校に入学して下さい。普通の高校とはまた違ったカリキュラムで慣れないことも多いと思いますが、夢を叶えるための環境は十分に整っていると思います。みんなが夢に向かって支え合い協力でき、楽しいことも辛いことも様々な経験ができる5年間が待っています。

私は、看護師である母の姿に憧れを抱き続け、看護師を目指すようになりました。さらに、早く自立した大人になりたいと思っていたので、最短で看護師になることができる白石高校に進学することを決めました。

5年間は、普通教科の勉強に加えて、看護という専門的な勉強があり、さらには部活に実習にと目まぐるしい日々でした。しかし、友達だけでなく、頼れる先輩や先生方、実習で関わる看護師さんや患者さんと、たくさんのお会いがあり、学びがあり、思い出がありました。辛いことも沢山ありましたが、その分楽しいことも面白いことも、元気になることもあったから乗り越えることができました。

この5年間の経験や思い出は、今の自分の原動力になっています。今はまだ、できないことばかりで不安と緊張でいっぱいですが、看護師として働いている自分にとっても喜びと誇りを感じています。これからは、自分の目指す看護師像を追求していき、一步一步前に進んでいこうと思います。

皆さんも、悩みや不安があってもやりたいことをやり遂げることが大切だと思います。自分の心に正直になって、自分を信じて、自分の意思で決断してみてください。その決断が、将来自分の支えになり力になると思います。



日本医科大学多摩永山病院勤務

私は今、小さい頃から憧れていた看護師としてがん看護に携わっています。新人で業務を覚えることに必死でまだまだ未熟ですが、日々先輩方や患者さんに支えられながら充実した生活を送っています。白石高校での学びが活かされることが多々あり、あの時頑張ってよかったなと実感することが多いです。今後も白石高校での学びを活かし、患者さんに寄り添った看護を提供できるよう頑張っていこうと思います。

私は、小さい頃からずっと憧れていた看護師に少しでも早くなりたいという思いから、最短で夢を叶えることができる白石高校に入学しました。思い返すと5年間は本当にあつという間でした。そして白石高校で得た友情や経験、学びは私の一生の宝物です。5年間を振り返ると楽しいことばかりではなく、普通科目に加えて難しい言葉ばかりの専門科目、実習・部活の両立など苦しいこともありました。乗り越えることができたのはいつも支えてくれる家族や仲間、先生方のおかげであり私の誇りです。

何事も全力でサポートしてくださる先生方や同じ目標を持つ仲間たちがいる白石高校は、看護師になる夢を叶える最高の環境だと思います。看護師になりたいという強い気持ちと覚悟があるのであれば是非白石高校に来てください。修了生として応援しています。



独立行政法人 宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター勤務